

# 第3回全国被災地

## 語り部シンポジウムin東北

### 「KATARIBE」を世界へ

語り部と震災遺構が紡ぐ

「被災地」と「未災地」

東日本大震災からまもなく7年、私たちが100年、1000年先まで伝えたいことを、誰もが語り部として伝えていくことが重要です。語り部自身の声で「被災地」と「未災地」を結び、日本から世界へ発信すべきことを共有し、防災・減災を実現していくためのシンポジウムです。

企画・制作/毎日広告社仙台



# 毎日情報プラザ

みやぎ

## みなさんの情報をお寄せください。

情報プラザは毎月第1、第3月曜日掲載。皆様からのさまざまな情報をお待ちしています。

あてさきは

〒980-0012 仙台市青葉区錦町1-5-1  
毎日広告社仙台 情報プラザ係 まで

◎開催日程 平成30年2月25日(日)・26日(月)  
◎会場 南三陸ホテル観洋(南三陸町黒崎99の17)  
および南三陸町内

◎震災を風化させないための語り部バス

シンポジウム特別コース(戸倉・志津川地区)  
オープニングプレゼンツ「浅間山大和讃」

(群馬県嬬恋村鎌原観音堂和讃会)

◎開会式  
◎パネルディスカッション

『普遍性・持続性のある震災伝承と震災遺構』

「KATARIBE(語り部)」を世界へ  
被災地から未災地へ・その先の未来へ」

パネラー 佐藤誠悦(元気仙沼本吉地方広域消防南三陸消防署副所長)、元田久美子(宮古観光文化交流協会学芸防災ガイド)、古村静代(益城だいきずプロジェクト)、さまざまに代表理事、メリー・コーベット(日本外国特派員協会理事)、フラビア・フルコ(上智大学比較文化研究所客員研究員)

MC センジャー 横澤明(群馬県嬬恋村鎌原観音堂和讃会) コーディネーター 柳井雅也(東北学院大学教養学部地域構想学科教授) ※敬称略

### ◎分科会

①語り部として私たちが今、伝えたいこと

②震災遺構と語り部が伝える震災伝承と教訓

③未来への伝承 100年・1000年・10000年  
先へ繋ぐために必要なこと

◎宮城・岩手の語り部による講話

◎交流会(有料・立食形式)

◎語り部バスオブションツアー

(気仙沼・石巻市大川小の2コースガイド付、無料) ◎参加無料。事前申込みが必要です。申込み締切2月18日(日)。定員となり次第締め切ります。

お申し込み方法など詳しくは、

「全国被災地語り部シンポジウムin東北」

実行委員会事務局(南三陸ホテル観洋内)

TEL 0226(46)2442

FAX 0226(46)6200

ホームページ <http://www.mkanyo.jp>